

映像事業

KAVC CINEMA 「漂うがごとく」

たゆたう愛のゆくえー

雨のハノイを舞台にベトナム映画の俊英が描く、艶かしい愛の痛み

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMA にて、「漂うがごとく」を上映する運びとなりました。

本作品は、ベトナム・ハノイを舞台に、満たされない想いを抱えながら彷徨う現代のベトナム人女性を描いた、第66回ヴェネツィア国際映画祭の国際批評家連盟賞受賞作になります。満たされることのない人間の孤独や欲望を表現し、登場人物がそれぞれ抱える心の乾きが、湿度の高いベトナムの風景や水の流れなど美しい映像と共に描かれます。

脚本を第30回東京国際映画祭のCROSSCUT ASIA部門で「大親父と、小親父と、その他の話」が上映された、ベトナムの鬼才ファン・ダン・ジーが担当。主人公・ズエン役にドー・ハイ・イエーン。17歳の時にトラン・アン・ユン監督の「夏至」(2000)に出演し女優デビューし日本でも公開された『モン族の少女 パオの物語』では主演のみならず、プロデューサーも務めました。ズエンの親友カム役にリン・ダン・ファムは、カトリーヌ・ドヌーブ主演の『インドシナ』(1992)で王女役でデビューし、『真夜中のピアニスト』(05)『ミスター・ノーバディ』(09)など出演するベトナム系フランス人になります。スタッフ・キャスト共に国際的に活躍するメンバーが揃った、娯楽映画中心のベトナム映画では数少ないアート作品です。

つきましては、本作品をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、情報掲載のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

あらすじ：ハノイで旅行ガイド兼通訳として働くズエンと、タクシー運転手のハイは、出会って三ヶ月で結婚を決めた。式のあと酔いつぶれ、夫婦の寝室へ担ぎ込まれる新郎ハイを、ズエンはただ見つめることしか出来なかった。後日、式に来られなかった女友達のカムを訪ねた帰り、彼女の代わりに手紙を届けに行ったズエンは、受取人のトーに襲われる。ハイとは正反対の、どこか危険な匂いのする男・トーに何故か魅了されていくズエン。だが女としての彼女の目覚めはやがてある悲劇を招く…。

「漂うがごとく」(2009年/ベトナム/106分)

監督：ブイ・タク・チュエン

出演：ドー・ハイ・イエーン/リン・ダン・ファム/ジョニー・グエン/グエン・ズイ・コア

上映期間：5/11(土)～5/24(金)

5/11(土) 15:25、12(日) 13:05

5/13(月)～16(木) 14:55 ※火曜休

5/17(金)、18(土) 10:45

5/19(日) 17:25

5/20(月)～23(木) 15:05 ※火曜休

5/24(金) 17:25

料金：一般1700円、学生1400円

シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり

配給：ムービー・アクト・プロジェクト



©Vietnam Feature Film Studio1,Acrobates Film